

共有すべき事例の再発・類似事例 ②

ヒヤリ・ハット事例のうち、「共有すべき事例の再発・類似事例」に関する事例が103件報告されています。(集計期間：2011年1月1日～2011年12月31日)

主な再発・類似事例を以下に示します。

併用禁忌薬の処方に関する事例

事例の概要

アンカロン錠100を服用中の患者が呼吸器感染の症状があったため、臨時で処方医に受診した。その際にアンカロン錠100の禁忌薬であるアベロックス錠400mgが処方されていたため疑義照会したところ、アベロックス錠400mgがフロモックス錠100mgに変更となった。

背景・要因 医師の知識不足であった。

改善策 記載なし

処方された医薬品 アベロックス錠400mg

変更になった医薬品 フロモックス錠100mg

同一医療機関の異なる診療科による処方に関する事例

事例の概要

風邪で受診した患者に「カロナール錠300、2錠/分2朝食後、4日分、クラリス錠200、2錠/分2朝夕食後、4日分」が処方されていた。患者は同病院の循環器科で「ワーファリン錠1mg 2.75錠/分1夕食後」が処方され、服用中であった。ワーファリンはクラリス錠200と併用することでPT-INR値の変動リスクが大きいため、併用を避けるべきと考えた。また患者は別の医療機関にリウマチで受診しており、「インフリーSカプセル200mg 2カプセル/分2朝夕食後」を常時服用していたため、カロナール錠300と薬効が重複していた。

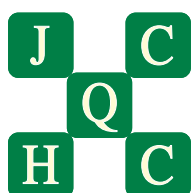
背景・要因 相互作用と薬効重複があった。

改善策 処方鑑査を徹底する。

処方された医薬品 クラリス錠200

変更になった医薬品 フロモックス錠100mg

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成23年年報」P221-223



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>